

平成 28 年度荒川区バリアフリー基本構想推進協議会

議 事 要 旨

日時：平成 29 年 3 月 8 日（水） 10:00～11:00

場所：荒川区役所北庁舎 101 会議室

議事次第：

- 1 開会
- 2 特定事業の進捗状況について
- 3 住民検討委員会の報告
- 4 その他

配布資料：

- ・ 次第
- ・ 資料 1 荒川区バリアフリー基本構想推進協議会 特定事業進捗状況一覧
- ・ 資料 2 荒川区バリアフリー基本構想推進協議会等設置要綱
- ・ 資料 3 荒川区バリアフリー基本構想推進協議会 委員名簿
- ・ 資料 4 基本構想 概要版 一式

1. 開会

<事務局>

- ・防災都市づくり部長挨拶
- ・資料の確認
- ・会長、副会長の選任
- ・会長挨拶
- ・委員紹介

2. 特定事業の進捗状況について

<<公共交通特定事業>>

<東京都交通局建設工務部>

都電荒川線について、大きく変更しているものはございません。なお、ホーム柵の設置等は引き続き取り組みます。

続いて、日暮里・舎人ライナーについて階段の段鼻が見辛いというご指摘がありました。本年度南口と尾久小口階段の段鼻に明るい塗装を施しました。

<東京地下鉄株式会社>

町屋駅の地下1階トイレについては、現在、詳細な整備時期は未定ですが、駅全体の改修に合わせて車いすトイレの改良を検討します。

エレベーターの案内・サインの位置については、2020年のオリンピック・パラリンピックまでにサインの更新を予定しております。

西日暮里駅については、取組が全て完了していますが、次年度以降もバリアフリー新規施策等の検討を進めていきます。

南千住駅についても、次年度以降も取り組みを継続してまいります。

また特定事業の取り組み以外では、ホームドア設置の取組について、千代田線、日比谷線は2022年完了の予定です。

<東日本旅客鉄道株式会社>

日暮里駅北口にスロープとエスカレーターを設置する設計を行っています。施工時期は、駅改良工事等との兼ね合いから調整中です。

南千住駅の案内については、駅社員での案内強化に努めております。

<京成電鉄株式会社>

町屋駅の点字については、平成26年度中に改修が完了しています。

日暮里駅の点字ブロックは、平成24年度までに改修が完了しています。

新三河島駅については点字ブロックと改札口幅の改修が終了しています。

特定事業の取り組み以外では、日暮里駅について、2017年度中に3階ホームにホームドアを設置します。また、1階ホームには、固定柵を設置します。

<首都圏新都市鉄道株式会社>

南千住駅のトイレ内の施設、ベビーチェア、ベビーベッド等の更新に伴い、取り扱い説明書を提示しています。今後、各駅のホーム階からコンコースの誘導サインの更新を予定しています。

<東京都交通局自動車部>

都営バスの維持管理ですが、老朽化した停留所については上屋の改修等を実施しています。サービスについては、車いす固定訓練キット、高齢者疑似体験キット及びDVD等を用いて乗務員のバリアフリー研修をしています。

今後の取り組み方針として、一層のバリアフリー化と誰もが利用しやすい公共交通機関を目指していきます。

<京成バス株式会社>

高齢者への支援強化ですが、乗務員の入社後研修で、車いす対応や高齢者の疑似体験を行っており、本年度も強化していきます。また、荒川区コミュニティバス「さくら」では、全てノンステップバスで運行していますが、全社的にノンステップバス化を進めたいと思います。

<<道路特定事業>>

<国土交通省東京国道事務所>

進捗について変更はありません。国道4号では、電線共同溝工事を施工しており、工事完了後から歩道のバリアフリー化と点字ブロックの設置工事に入る予定です。

<東京都建設局第六建設事務所>

三河島駅前の都道の道路傾斜について、JRと協力して段差を少しでも解消できる方向性がまとまりました。電線類地中化事業と合わせてJRと協力しながら施工実施に向けて取り組んでいきます。

<荒川区防災都市づくり部道路公園課>

区道荒87号線（七五三通り）では、木の根により持ち上がった歩道舗装の修繕を行います。平成27年度に策定した歩道の整備計画に基づき歩道改修工事を実施していきたいと考えています。

紅葉橋については、平成26,27年度にJRと共同で実施した耐震調査等に基づき、エ

レベーターを整備できないか検討を進めています。来年度予備設計・地下埋設物調査等を行っていきたいと考えています。

《都市公園特定事業》

＜荒川区防災都市づくり部道路公園課＞

トイレについてですが、今後、公衆トイレ・公園トイレの改修計画を策定する予定です。この計画に基づき、老朽化したトイレの建て替え・改修・補修等により、使いやすいトイレの整備を実施したいと考えています。

《交通安全特定事業》

＜荒川警察署＞

進捗状況は、資料のとおりです。区役所付近の横断対策として、区役所前に横断防止柵を設置し、横断出来ないよう対策をとっています。

＜南千住警察署＞

実績は、全て 100%となっていますが、国道 4 号線の音響式信号機がまだ 3 か所しか設置されていません。今後動線等を考慮し、増設したいと考えています。また、音量についても考慮したいと思います。

＜尾久警察署＞

現在熊野前交差点については、調整を行っていますが、今後も継続していきたいと思います。バリアフリーからは外れますが、東京都第六建設事務所と協議し、自転車と歩行者の交錯による重大事故防止のため、都電通りと交差する熊野前の交差点脇において、ボラードを立てました。若干通行しづらく、バリアフリーに反するかもしれませんが、自転車との衝突を防止し、事故を防ぐ対策をしていますので、ご理解をお願いします。

《建築物等特定事業》

＜事務局＞

区の公共施設の中で荒川総合スポーツセンターは平成 31 年度に大規模改修計画があり、現在基本設計を実施している状況です。また、荒川総合スポーツセンターについては、バリアフリー特定事業に位置付けられている為、住民検討委員会としてまち歩き点検を行い、施設の現況を確認していただいたので、後程報告します。

＜会長＞

ここまでのご説明で委員の方々からご意見、ご質問ありましたらお願いします。

<委員>

道路に立っているボラードについて車いす等の障害者の立場からすると、無い方がいいのですが、自転車等の事故防止のためであれば、仕方がないと理解しました。

道路の舗装の仕上げについて凸凹が大きいと感じます。最近の車いすは、サスペンションにより衝撃を吸収し、揺れるため、できるだけ平坦性を確保して欲しいと思います。

今、様々な交通機関で 2020 年に向けてエレベーター等の改修を施工しております。先日、霞が関駅に行った際、エレベーター改修工事のため、階段を 5,6 人の警備員に車いすごと担ぎ上げられようとなりました。エレベーターの改修が前もってわかっていたら、迂回路を選択します。車いすごと担ぎ上げられるのは非常に怖いので、関係者の皆様にご配慮いただきたいと思います。

荒川総合スポーツセンターの改修については、トイレを含め、利用する人の意見を集約し、設計段階から検討していただきたいです。

<会長>

道路のボラードについては、設置が進んでおります。多角的に考え、事故防止という意味では、必要な面があります。利用者が相互に協力し合い、譲り合って理解を深めることで推進していけると思います。

また、道路の平坦化については、取組みを進めていただきたいです。

駅のエレベーターについては、主要な事業者が揃っているのです、工事がある時は、協力して周知を行っていただきたいと思います。この件について事業者からご意見、ご紹介いただきたいと思います。

<荒川区防災都市づくり部道路公園課>

道路の凹凸については、ガスや水道工事等の仮復旧によるものや老朽化等様々なケースが考えられます。道路については、高齢者の方や障がいをお持ちの方も円滑に移動が出来ることが大事だと肝に銘じています。事務局を通じて、具体的な場所をご教示いただければ、現場を確認の上対応したいと考えています。

<東京都建設局第六建設事務所>

東京都も無電柱化事業を行っており、東京電力、NTT、水道、ガスといった事業者が入っていますので、仮復旧の状態となって継ぎはぎのところがあると思います。都道で凸凹がありましたら事務局を通じて東京都にご連絡いただければ、出来る限りの範囲で復旧します。

<委員>

良くわかりました。道路は、メールやフェイスブックで写真を送るなど、簡易な方法

で要望できる仕組みづくりを検討していただくのもいいかと思います。そういった部署を設置すれば、皆さんの意識も高まると思います。

<会長>

ご提案について、検討していただきたいと思います。写真等の工夫は、具体的に場所の特定できるため、大変良いご発案だと思いますので、ご協力いただきたいと思います。

駅のエレベーターについては、職員の健康を守る面からも重要です。担ぎ上げるのは、安全面からも無理があります。迂回路があれば、使用するとのことでしたので、周知の徹底により改善が図れると思います。これにつきまして取組がありましたら、ご紹介をお願いします。

<東京都交通局建設工務部>

都営地下鉄では、大江戸線を中心にエレベーター更新工事を行っています。現在、蔵前駅でエレベーター更新工事を行っており、事前のビラ配布、駅内の放送及び車内放送を行い、なるべく多くの方に伝える工夫をしています。使用頻度の低い方への周知は難しいですが、ホームページ掲載等の工夫を行います。

エレベーターの改修について、迂回していただくのが一番いいのですが、来ていただいた方は、持ち上げなくてはならないので、安全に配慮し、周りの方のご協力で工夫したいと思います。

<会長>

事故が無いことが何よりの願いですので、改善をお願いします。

続いて、荒川総合スポーツセンターについて私も拝見しましたが、大変狭いトイレだと記憶しています。狭い面積の中での活用は、当事者の意見が重要だと思いますので、設計に反映させるために早い段階から意見をいただく機会があればと思います。これにつきましてはいかがでしょうか。

<事務局>

昨年末の住民検討委員会で荒川総合スポーツセンターについて、急な階段、スロープの拡幅及びトイレの改修等、多数の意見をいただいています。所管のスポーツ振興課も一緒にまち歩きを行い、直接意見を反映させるべく基本設計を進めていると聞いています。

皆さんから意見があったということは改めて申し伝えます。

<会長>

バリアフリーから一歩進み、ユニバーサルデザインに様々な方が多角的な面からご意見を出していただくという機会を設けて進めていきたいと思います。

<委員>

先程の道路の凹凸については、私も感じます。

都電 8500 型の車両について、8500 型のスロープ板は 100%整備されていると書いてありますが、先日都電に乗った人が運転士にスロープ板の使用を申しでると、装備してないと言われたので担当者に伺いたいです。

また、荒川総合スポーツセンターのトイレの現在の高さはとても使いやすいのです。改修時には使いやすいところは残して欲しいと思います。

<東京都交通局建設工務部>

都電荒川線は担当が別なので、詳細については存じておりません。基本的にはスロープ板等の装備が済んでおり、車両の方で対応していると聞いています。そういったご案内があったということで、担当部署に確認し、再度ご連絡申し上げたいと思います。

<事務局>

昨年末の住民検討委員会のまち歩きの際、設計部署である営繕課の職員も一緒に皆さんのご意見を聞き、反映するというので基本設計に入っていますので、再度意見があったことをお伝えします。

<会長>

よろしく申し上げます。それでは、他にご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いします。

<委員>

都電の表示について、文字が出るようになり、うれしく思っています。例えば地震が起きた際は、地震情報に表示が変わる等の対応策があるのでしょうか。

<東京都交通局建設工務部>

関係部署に問い合わせ、後日ご回答します。

<委員>

先程、交通機関の中でエレベーターの改修、広告及びアナウンスという話がありました。障がいには様々な種類があります。我々、視覚障がい者はアナウンス等の音で分かりますが、聴覚障がいの方は聞こえません。昔、駅の待ち合わせに掲示板を使っていましたが、駅の改札に設置することで、地震や改修情報について伝えられると思います。我々は音声で大分助かっていますが、視覚障がい者でも耳が不自由になってきている高

齢者が増えています。去年のホーム転落事故により、声掛け運動を一生懸命行っていたのですが、耳が聞こえない人が声を掛けられても、駅の大きな音の中では聞こえないこともあります。親切に声掛けをしていただいても、気が付かないこともあるということを知って欲しいです。色々な障害に応えられるものをお願いします。

<会長>

今のご意見は障害の多様性に対する配慮をより一層進めていただききたいということです。そして、各駅連携して周知の仕方を工夫していただきたいです。看板という非常にシンプルで分かり易いご提案もありました。障害の多様性については、残念ながら十分に配慮されているとは言いにくいので、我々も考えなければなりません。今のご指摘について、ぜひ取り上げていただき、色々な障がいの方に対応できる方法について、常に考えていただければと思います。また、社員教育についてもぜひお願いします。

次に、住民検討委員会の報告を事務局からお願いします。

3. 住民検討委員会の報告

<事務局>

昨年の12月14日に南千住地域のまち歩きを含めた住民検討委員会を開催しました。当日は、荒川総合スポーツセンター内外を班分けして、状況点検し、今後改修して欲しいところ等の意見を多数いただきました。また、周辺道路のバリアフリー化のため、道路の点検もしていただきました。歩道の勾配や点字ブロックについてご指摘がありましたので、各所管と情報共有をしました。

なお、住民検討委員会では、各事業者の特定事業の進捗状況を報告しております。先ほど東京都第六建設事務所からご報告いただいたJR三河島駅前の道路の急勾配について、改善の方向が見ついたというご報告をしております。

4. その他

- ・事務連絡

5. 閉会

平成 28 年度荒川区バリアフリー基本構想推進協議会出欠状況一覧

NO.	区 分		所 属	委 員 名	出欠		
1	学識経験者	会長	首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 准教授	橋 本 美 芽	出		
2			首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 作業療法科学域 准教授	石 橋 裕	出		
3	障害者団体等の代表者		荒川区聴覚障害者協会 会長	大 石 泰 延	出		
4			荒川区視力障害者福祉協会 会長	野 田 和 義	出		
5			荒川のぞみの会 会長	大 沼 弘 子	出		
6			NPO法人 荒川区高齢者クラブ連合会 事務局長	大 島 章 吾	出		
7			荒川やさしい街づくりの会 代表	後 藤 俊 子	出		
8			荒川区身体障害者相談員	高 見 和 幸	出		
9	交通事業者	鉄道	東京都 交通局 建設工務部 計画担当課長	飯 沼 健 一	代		
10				東京地下鉄(株) 鉄道本部 鉄道統括部 移動円滑化設備整備促進担当課長	木 津 和 久	代	
11				東日本旅客鉄道(株) 東京支社 総務部企画室 企画調整課長	塩ノ谷 浩 司	代	
12				京成電鉄(株) 鉄道本部 計画管理部 計画担当課長	石 井 貴 史	出	
13				首都圏新都市鉄道(株) 技術部 施設課担当課長	星 野 和 生	代	
14		バス	東京都 交通局自動車部 事業改善担当課長	島 崎 健 一	代		
15				京成バス(株) 営業部 乗合営業課長	坂 本 幸 裕	代	
16	関係行政機関	国	国土交通省 関東運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長	笠 間 雅 弘	出		
17		東京都	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課長	谷 崎 馨 一	欠		
18		近隣区	台東区 都市づくり部 地区整備課長	原 島 悟	欠		
19		施設管理者	国	国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 交通対策課長	三 條 憲 一	代	
20			東京都	東京都 建設局 第六建設事務所 補修課長	金 澤 大 介	出	
21			荒川区	防災都市づくり部 施設管理課長	川 原 宏 一	出	
22				防災都市づくり部 道路公園課長	大 木 浩	出	
23		交通管理者	警視庁	荒川警察署 交通課長	吉 武 弘 基	代	
24					南千住警察署 交通課長	藤 木 泰 彦	代
25					尾久警察署 交通課長	須 賀 康 司	代
26	荒川区		防災都市づくり部長	松 土 民 雄	出		
27			防災都市づくり部 都市計画課長	松 崎 保 昌	出		
28			総務企画部 企画担当課長	上 田 望	代		
29			福祉部 福祉推進課長	吉 野 豊 喜	代		
30			子育て支援部 子育て支援課長	伊 藤 節 子	出		